

2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月10日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 0570-666-425  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第3四半期の連結業績(2024年9月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	51,354	10.7	8,395	19.1	8,593	10.1	5,408	0.7
2024年8月期第3四半期	46,384	16.0	7,047	18.3	7,801	27.0	5,367	△21.6

(注) 包括利益 2025年8月期第3四半期 5,813百万円(7.8%) 2024年8月期第3四半期 5,392百万円(△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	65.90	61.20
2024年8月期第3四半期	65.84	60.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第3四半期	66,494	35,267	53.0
2024年8月期	61,714	30,354	49.2

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 35,258百万円 2024年8月期 30,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2025年8月期	—	12.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,057	12.3	11,578	13.9	11,536	5.5	7,499	11.3	91.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) 株式会社コシダカデジ、除外  
 タル 1社(社名) KOSHIDAKA SINGAPORE  
 PTE. LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期3Q	83,781,480株	2024年8月期	82,300,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	1,357,899株	2024年8月期	1,357,519株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期3Q	82,068,125株	2024年8月期3Q	81,532,623株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ戦争、中東におけるイスラエルとその周辺勢力・イラン間の紛争に起因するエネルギー・食料品の価格上昇が継続する中、米トランプ新政権による関税施策なども影響し、国際物価は高止まり傾向である一方、国内の物価に影響の大きい為替レートについては日米両金融当局の政策スタンスの転換点を迎え、景況感・物価に関連する経済指標に敏感に反応する地合いが継続しております。インバウンド観光客が戻り、大手企業先行とはいうものの給与水準引き上げ傾向を背景に、物価・賃金の安定的上昇につながる可能性も見えてきておりますが、短期的にはコモ価格動向が政局も絡めて注目される状況となっております。

各セグメントの業績は次の通りであります。

#### (カラオケ)

主力のカラオケセグメントでは、当第3四半期連結累計期間においても、積極的出店を継続し、31店舗を開設いたしました。店舗毎に市場状況に応じたきめ細かなプライシングに努め、既存店客数の増勢を持続させることができました。

また、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向け、カラオケ以外のエンターテインメントの提供、コンテンツラボの積極的展開、採用・教育体制の拡充を進めた他、新規エンターテインメント及び各種業務効率化に向けたDX施策の開発・導入準備を進め、新たなエンターテインメントプラットフォームとしてエンタメボックス「E-bo」を首都圏店舗に導入いたしました。また、組織体制の強化の一環として給与水準の引き上げを含む人事制度の刷新(Koshidaka Workstyle Innovation Plan)も行っております。

海外においても、東南アジアでの新規出店を継続し、マレーシアに2店舗、タイに1店舗の「カラオケまねきねこ」をオープンいたしました。また新たにアメリカ、フィリピンへの進出を決め、アメリカでは物件の選定、フィリピンでは新法人の設立準備を進めております。

当第3四半期連結累計期間末のカラオケセグメントの国内店舗数は、前連結会計年度末比24店舗増加し688店舗、海外店舗数は同3店舗増の4か国25店舗(韓国4店舗、マレーシア15店舗、タイ4店舗、インドネシア2店舗)となりました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は496億95百万円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益は91億36百万円(同10億31百万円増益、12.7%増)となりました。

#### (不動産管理)

不動産管理セグメントでは、主要物件である「アクエル前橋」、「MANEKI新橋ビル」、「フルーレ花咲ビル」他、既存・新規物件とも安定的に推移いたしました。

以上の結果、不動産管理セグメントの売上高は13億79百万円(前年同期比19.6%増)、セグメント利益は1億49百万円(同88百万円増益、146.1%増)となりました。

#### (その他)

その他セグメントでは、飲食店舗5店舗(銀だこハイボール酒場、カフェエクラ)などの収益が堅調に推移しました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は6億66百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は28百万円(黒字化)となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第3四半期連結累計期間の売上高は513億54百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益83億95百万円(同19.1%増)、経常利益85億93百万円(同10.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億8百万円(同0.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億42百万円増加し136億46百万円(同比14.6%増)となりました。これは主に、現金及び預金が15億16百万円増加したこと、流動資産のその他が1億29百万円増加したことなどによるものです。

有形固定資産は18億90百万円増加し364億8百万円(同比5.5%増)となりました。これは主に、新規出店に伴い建物及び構築物(純額)が16億53百万円増加、車両運搬具及び工具器具備品(純額)が2億7百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は1億95百万円増加し8億91百万円(同比28.0%増)となりました。

投資その他の資産は9億50百万円増加し155億48百万円(同比6.5%増)となりました。これは主に、投資有価証券が4億12百万円、敷金及び保証金が2億55百万円、長期貸付金が2億28百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は、30億36百万円増加し528億48百万円(同比6.1%増)となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ47億79百万円増加し664億94百万円(前連結会計年度末比7.7%増)となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ15億8百万円減少し124億66百万円(同比10.8%減)となりました。これは主に、未払法人税等が15億80百万円、1年以内返済予定の長期借入金が3億50百万円、それぞれ減少した一方、預り金が3億42百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は13億75百万円増加し187億59百万円(同比7.9%増)となりました。これは主に、長期借入金17億79百万円増加、資産除去債務が5億74百万円増加した一方、転換社債型新株予約権付社債が10億円減少したことなどによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1億33百万円減少し312億26百万円(同比0.4%減)となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ49億12百万円増加し352億67百万円(同比16.2%増)となりました。これは主に、利益剰余金が35億7百万円増加、資本金が5億円、資本剰余金が5億円、為替換算調整勘定が4億1百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ウクライナ戦争並びに、ガザ地区におけるイスラエル・ハマスの紛争の長期化からイスラエル・イラン間での武力行使に発展する中で、米軍まで戦闘当事者として関与する状態に至り、原油・天然ガスの価格上昇圧力がさらに高まる中、米トランプ政権の関税施策も相まって物価は高止まり要素が追加され、同政策による米国内物価上昇懸念と、景気への悪影響懸念から米金融当局の姿勢や各種経済指標に敏感に市場が反応する状況が継続しており、当面は不安定な市場動向が継続するものと見られます。

当社におきましては、かねてから標榜しております、積極的出店の継続と、提供サービスの多様化を通じて、全国津々浦々にPER (Private Entertainment Room) を届けるとする中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」(EIP: Entertainment Infrastructure Plan) の中間目標達成を受け、最終目標の達成時期を2027年8月期と明確化し、2025年8月期から2027年8月期を本ビジョンの仕上げの時期(EIPファイナルステージ)と位置づけ、諸施策を一層加速してまいります。

以上により、2025年8月期通期の連結業績につきましては、期初の予想を維持し、売上高710億57百万円(前連結会計年度比12.3%増)、営業利益115億78百万円(同13.9%増)、経常利益115億36百万円(同5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益74億99百万円(同11.3%増)を見込んでおります。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,772,024	8,288,088
受取手形及び売掛金	1,200,948	1,233,721
商品	180,507	138,032
原材料及び貯蔵品	379,241	456,392
その他	3,403,186	3,532,531
貸倒引当金	△32,566	△2,551
流動資産合計	11,903,342	13,646,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,817,938	26,471,775
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,587,181	2,794,471
土地	6,957,299	6,957,299
建設仮勘定	155,672	184,925
有形固定資産合計	34,518,091	36,408,472
無形固定資産		
のれん	446	158
ソフトウェア	546,502	598,486
その他	149,146	292,633
無形固定資産合計	696,094	891,277
投資その他の資産		
投資有価証券	699,663	1,112,163
関係会社株式	93,922	93,576
長期貸付金	2,163,840	2,392,697
長期前払費用	648,727	656,988
敷金及び保証金	8,290,370	8,545,666
繰延税金資産	2,830,870	2,746,345
その他	427,435	433,688
貸倒引当金	△557,447	△432,791
投資その他の資産合計	14,597,384	15,548,333
固定資産合計	49,811,570	52,848,084
資産合計	61,714,913	66,494,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	677,552	511,920
1年内返済予定の長期借入金	1,711,240	1,361,240
未払金	1,766,940	1,746,220
未払費用	1,882,305	1,896,680
未払法人税等	2,493,886	913,590
賞与引当金	349,269	198,687
預り金	746,980	1,089,555
契約負債	3,365,428	3,657,389
その他	982,258	1,091,677
流動負債合計	13,975,861	12,466,961
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	4,000,000	3,000,000
長期借入金	5,725,060	7,504,130
繰延税金負債	685,008	619,294
資産除去債務	5,934,528	6,508,839
その他	1,039,815	1,127,547
固定負債合計	17,384,412	18,759,811
負債合計	31,360,274	31,226,772
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,570,257
資本剰余金	3,302,786	3,802,786
利益剰余金	26,049,100	29,556,727
自己株式	△675,710	△676,165
株主資本合計	30,746,433	35,253,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,456	100,722
為替換算調整勘定	△496,873	△95,424
その他の包括利益累計額合計	△400,416	5,297
新株予約権	8,622	8,622
純資産合計	30,354,638	35,267,525
負債純資産合計	61,714,913	66,494,298

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)
売上高	46,384,798	51,354,116
売上原価	34,301,136	37,885,926
売上総利益	12,083,662	13,468,190
販売費及び一般管理費	5,035,931	5,073,090
営業利益	7,047,730	8,395,099
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,469	16,242
為替差益	196,068	—
貸倒引当金戻入額	51,773	121,911
解約金収入	504,715	100,137
その他	173,122	107,184
営業外収益合計	940,149	345,476
営業外費用		
支払利息	25,258	56,950
為替差損	—	49,583
支払家賃	105,423	11,808
その他	55,416	28,591
営業外費用合計	186,098	146,933
経常利益	7,801,782	8,593,642
特別利益		
固定資産売却益	—	1,543
特別利益合計	—	1,543
特別損失		
固定資産除却損	26,591	43,545
減損損失	120,085	162,358
子会社清算損	—	465,663
特別損失合計	146,677	671,566
税金等調整前四半期純利益	7,655,104	7,923,618
法人税、住民税及び事業税	2,412,742	2,500,395
法人税等調整額	△125,628	15,020
法人税等合計	2,287,113	2,515,415
四半期純利益	5,367,991	5,408,202
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,367,991	5,408,202

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	5,367,991	5,408,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,085	4,265
為替換算調整勘定	△77,342	401,448
その他の包括利益合計	24,742	405,714
四半期包括利益	5,392,733	5,813,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,392,733	5,813,916

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間において、転換社債型新株予約権付社債の一部の権利行使を受け、新株の発行を行ったことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ500,000千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,570,257千円、資本剰余金が3,802,786千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

特定子会社の異動には該当しておりませんが、前連結会計年度において非連結子会社であった株式会社コシダカデジタルを、当社グループにおける重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、当社の連結子会社であったKOSHIDAKA SINGAPORE PTE. LTD. を、2024年12月27日付けで清算終了したことにより、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	44,887,734	207,655	651,471	45,746,861	—	45,746,861
その他の収益	—	637,936	—	637,936	—	637,936
外部顧客への売上高	44,887,734	845,592	651,471	46,384,798	—	46,384,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	308,447	—	308,447	△308,447	—
計	44,887,734	1,154,039	651,471	46,693,245	△308,447	46,384,798
セグメント利益又は損失(△)	8,104,503	60,716	△45,456	8,119,763	△1,072,032	7,047,730

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,072,032千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	49,695,073	216,502	666,551	50,578,127	—	50,578,127
その他の収益	—	775,988	—	775,988	—	775,988
外部顧客への売上高	49,695,073	992,490	666,551	51,354,116	—	51,354,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	387,166	—	387,166	△387,166	—
計	49,695,073	1,379,657	666,551	51,741,282	△387,166	51,354,116
セグメント利益	9,136,464	149,435	28,190	9,314,090	△918,991	8,395,099

(注) 1. セグメント利益の調整額△918,991千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	3,218,195千円	3,389,809千円
のれんの償却額	747	287

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。